

秋は鳥取の温泉でしよ!

湖畔の東郷温泉と、市街地の鳥取温泉

個性豊かな温泉地に恵まれた「温泉天国・鳥取県」。松葉ガニの解禁を目前に控え、同県の温泉地はますます活気づいています。その中から今回は、湖畔と市街地という対照的な場所にある2つの温泉地を紹介。木々の色づきが深まる中、源泉かけ流しのいで湯に漬かる、そんな秋の休日の提案です。



(写真右上から時計回り) 東郷温泉「湖泉閣 養生館」の広大な庭園にある貸し切り風呂からの夕景 / 早朝の東郷湖で行われている、伝統のシジミ漁 / 鳥取温泉「観水庭 こぜにや」自慢の貸し切り露天風呂 / 「こぜにや」で話を聞いた際、気さくに話してくれた、スタッフの永吉優里さん(左)と藤原美和さん

湖畔の名湯「東郷温泉」

鳥取県には、10カ所の温泉地があります。東から山陰最古の温泉地「岩井温泉」(岩美町)に始まり、世界有数のラジウム温泉が湧き出す「三朝(みささ)温泉」(三朝町)、西の端の米子市には水木しげるロードも近い「皆生(かいけ)温泉」…。その中で、県内屈指の二十世紀梨の産地・湯梨浜町の東郷湖の南東岸に位置するのが「東郷温泉」です。

湖に溶けいるようにたたくむこの温泉地には、JR松崎駅から湖畔までの道すがらに湯宿が点在。滞在先に到着してひと休みしたら、湖底から湧く名湯を早速堪能しましょう。「美人の湯」ともいわれ

る無色透明の湯は、湯量も豊富な源泉かけ流し。日の高いうちから湯船に漬かるだけでもぜいたくですが、湖畔の宿なら水郷情緒は一層豊か、さらに湖水と戯れる水鳥も視界に入れば文字通り特等席となります。

「鳥取温泉」は、県庁所在地にある全国でも珍しい温泉地です。小規模ながら風致な旅館や素朴な銭湯が集まり、いずれもJR鳥取駅から徒歩で10分程度。中でも、老舗旅館「観水庭 こぜにや」の風呂は市街地にいることを忘れてしまいうです。源泉かけ流しのいで湯が待っているのは、コイが泳ぎ回る中庭の池に沿った回廊の先。露天風呂や家族風呂など全ての湯船がプライベート感にあふれ、こちらの日の高いうちに楽しみた

駅から徒歩圏内の「鳥取温泉」

「鳥取温泉」は、県庁所在地にある全国でも珍しい温泉地です。小規模ながら風致な旅館や素朴な銭湯が集まり、いずれもJR鳥取駅から徒歩で10分程度。中でも、老舗旅館「観水庭 こぜにや」の風呂は市街地にいることを忘れてしまいうです。源泉かけ流しのいで湯が待っているのは、コイが泳ぎ回る中庭の池に沿った回廊の先。露天風呂や家族風呂など全ての湯船がプライベート感にあふれ、こちらの日の高いうちに楽しみた

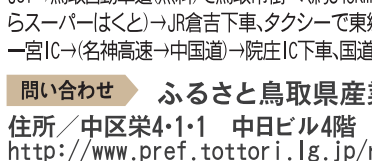
る無色透明の湯は、湯量も豊富な源泉かけ流し。日の高いうちから湯船に漬かるだけでもぜいたくですが、湖畔の宿なら水郷情緒は一層豊か、さらに湖水と戯れる水鳥も視界に入れば文字通り特等席となります。

11月6日には松葉ガニが解禁!

毎月100人にカニが当たる!!

「鳥取県ウェルカニキャンペーン」

鳥取県が、県内の対象宿泊施設(139軒)の宿泊者を対象に2015年2月28日(土)まで実施中。所定のはがきに「宿泊証明印」を押印してもらって応募すると、抽選で毎月100人(総勢500人)に、松葉ガニ(同県産ズワイガニの雄)やベニズワイガニなど同県産のカニが当たります。http://www.tottori-guide.jp/wel-kani/



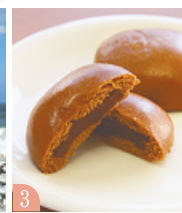
で、締め切りなどの詳細をチェックして!!

アクセス 【鳥取温泉】電車…JR名古屋→(新幹線)→JR姫路→(スーパーはくと)→JR鳥取(約3時間20分) 車…一宮IC→(名神高速→中国道)→佐用JCT→鳥取自動車道(無料)で鳥取市街へ(約340km) 【東郷温泉】電車…(JR姫路からスーパーはくと)→JR倉吉下車、タクシーで東郷温泉へ(約3時間50分) 車…一宮IC→(名神高速→中国道)→院庄IC下車、国道179号で湯梨浜町へ(約400km)

問い合わせ ふるさと鳥取県産業・観光センター
住所/中區栄4・1・1 中日ビル4階 電話/052-262-5411
http://www.pref.tottori.lg.jp/nasoya/

足をのばして行かなきゃ! 味わわなきゃ!

温泉を起点に訪れたい観光スポットや、ぜひ味わいたいお勧めのスイーツを紹介します。



1. 「天女の梨クーヘン」 鳥取県産二十世紀梨を丸ごと1個使ったコンポートをバウムクーヘンで包んだ話題のスイーツ。梨好きにはたまらない逸品で、東郷湖畔のパン店「ばにーに」で購入できます(2100円)。
2. 「鳴り石の浜」 琴浦町にある花見海岸には、だ円形の石が集積し、波にもまれて「カラコロ」と音を立てます。「よく鳴る」ことから「良くなる」と、縁起の良いスポットとしても人気です。
3. 「ふるしきまんじゅう」 老舗和菓子店「山本おたふく堂」が1868年の創業以来作り続けている、鳥取県を代表する銘菓。風呂敷の四隅を折ったような形

が名前の由来です。3個200円。

4. 「塩谷定好(しおたにていこう)写真記念館」 生涯にわたり、山陰の自然や人を撮り続けた写真家・塩谷定好氏の写真記念館です。撮影写真は芸術写真と呼ばれ、同氏はその分野で国内の草分け的存在。国内外で評価された写真をひと目見ようと、県外の来訪者も。明治後期の商家である生家を改装した館内にはギャラリーだけでなく生前の愛用品の展示スペースもあります。入館料300円(中学生以下無料)。

